

物語文を読んでえらぼう

小6／物語を読んで、人物の心情や理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 寄せ書きを よんで、『かたをふるわせた』ときの先生の様子を1つえらびましょう。

退職する 先生が、クラスの 寄せ書きを受け取った。一人一人の言葉を ゆっくり 目で 追い、ある ところで 指を 止めると、口を 結んで かたを ふるわせた。そこには、いたずら好きの 健二の 字で「先生の 字は 読めなかったけど、話は ずっと 聞いてた」と あった。やがて 先生は ふき出し、「健二め、一本 とられたな」と 笑いこぼした。

- 1 字が読めないと書かれて、はずかしさをこらえていた。
- 2 ふざけた一行に、少し腹が立つのをこらえていた。
- 3 こみ上げてくるなみだを、生徒に見せまいとこらえていた。
- 4 こみ上げてくるおかしさを、なんとかこらえていた。

2 二つのペンケースを よんで、美月が古いほうを使い続けるのはなぜですか。1つえらびましょう。

美月はお年玉で新しいペンケースを買った。ところが 次の 朝、それを かばんの 外ポケットに 入れて みると、ファスナーが しまらない。美月は 小さく ため息を つき、新しい ほうを 机の 引き出しに しまうと、ファスナーの こわれかけた 古い ペンケースを、また ポケットに すべりこませた。

- 1 新しいほうは、使うのがもったいなく感じたから。
- 2 古いほうが、仲のよい友だちとおそろいだから。
- 3 新しいほうは、いつも入れている場所に入らなかったから。
- 4 古いほうに、小さいころからの思い出がつまっているから。

3 お弁当を よんで、のりの文字にこめた母の思いを1つえらびましょう。

昨日、玲は 夜おそくまで マンガを 読んで いた。今日の 昼、学校で 母の 作った 弁当の ふたを 開けると、ごはんの上に のりで「がんばれ」ではなく、「ねるな」と 書いて あった。午後は 苦手な 歴史の 授業だ。玲は あわてて ふたで 文字を かくし、あたりを 見回した。

- 1 夜ふかしした玲が、午後にいねむりしないよう注意したい。
- 2 夜おそくまで勉強していた玲を、ゆっくり休ませてあげたい。
- 3 夜ふかしした玲でも、元気に一日を乗り切れるよう、はげましたい。
- 4 夜ふかしした玲に、ごはんをしっかり食べて力をつけてほしい。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小6／物語を読んで、人物の心情や理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：4

口を結んでかたをふるわせたあと、『やがて先生はふき出し』、『一本とられたな』と笑いころげました。こらえていたのは笑いです。なみだやはずかしさ、いかりは書かれていません。

2 答え：3

新しいほうを外ポケットに入れると『ファスナーがしまらない』。ため息をついて、古いほうをまたポケットに入れました。思い出・もったいなさ・おそろいは書かれていません。

3 答え：1

前の夜、玲は『夜おそくまでマンガを読んでいた』。のりの文字は『「がんばれ」ではなく、「ねるな』』。いねむりしないように、という注意です。勉強していたものではありません。

読み取るコツ

直接書かれていない心情は、行動・様子・せりふ（だまる・にやりとする・横顔）から読み取ります。